

1 食品ロス削減推進計画について

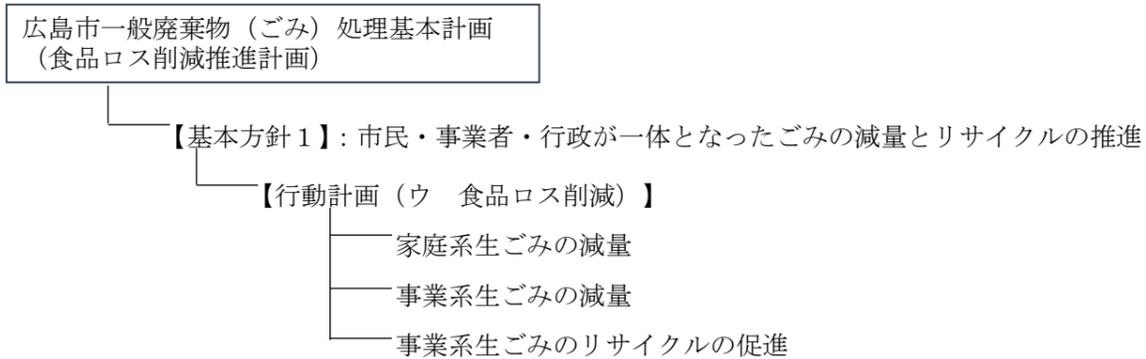
(1) 概要

食品ロス削減推進計画は、本市における食品ロス削減に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和元年10月に施行された食品ロスの削減の推進に関する法律に基づいて定めており、令和3年3月に改定した広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中の食品ロス削減に係る行動計画等に位置付けている。

また、現行の食品ロス削減推進計画は、令和5年4月に施行した広島市食品ロス削減推進条例の規定により、同条例に基づいて定められた食品ロス削減推進計画としてみなすこととしている。

(2) 施策展開

食品ロスの削減に関する施策については、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における「基本方針1：市民・事業者・行政が一体となったごみの減量とリサイクルの推進」に係る行動計画の項目のうち、「ウ 食品ロス削減」に基づいて、3つの観点から展開している。



2 実施状況の報告について

広島市食品ロス削減推進条例の第7条第6項において「市長は、毎年、食品ロス削減推進計画に基づく施策の実施状況を広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会及び市議会に報告するとともに、これを公表するものとする。」とされているため、広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会及び市議会に食品ロス削減推進計画に基づく施策の実施状況を報告し、公表する。

3 令和5年度の施策の実施状況一覧

	食品ロス削減推進計画に記載している施策	令和5年度の施策の実施状況
家庭系生ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の推進 ①市民・事業者・行政の三者協働による食品ロス削減運動の実施 ②エコクッキングの推進 ③家庭系生ごみリサイクル講習会の実施 ④学生等と連携したごみ減量等活動の推進 ⑤イベントと連携した食品ロス削減の普及啓発の推進 	<p>(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 「ごみ減らそうデー」の実施【①】 イ ごみ減量・リサイクルに関するチラシ等の作成【①】 ウ 勉強会の開催【①】 エ フードバンクに関する周知啓発【①】 オ ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開【①】 カ 食品ロス削減に関する取組の周知啓発【①】 キ 食品ロス削減推進サポーターの育成【①】 ク 食品ロス削減イベントの開催【①・⑤】 ケ 環境イベント等への出展に合わせたクイズ・フードドライブの実施【①・⑤】 コ エコクッキング教室等の開催【②】 サ 生ごみリサイクル講習会の開催【③】 シ 環境講座の実施【④】 ス 「わたしたちの広島」及び「ごみのおはなし」における周知啓発【④】 セ パネル展示の実施【④】 ソ 家庭系廃食用油の回収の促進【④】 タ 学生と連携したエコクッキングレシポ・動画作成及びエコクッキング教室の開催【④・⑤】 チ 啓発パネル等の啓発物品の貸出【⑤】 <p>(2) その他の関連施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア エシカル消費の普及啓発 イ わ食（和食・輪食・環食）の推進 ウ 食農推進事業 エ 食育リーフレットの作成 オ 学校における各教科の指導の充実
事業系生ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ残しゼロ推進協力店及び食品ロス削減協力店制度による食品ロスの削減 ・食品リサイクル法の周知を図り、スーパーマーケットや外食産業など食品関連事業者の食品廃棄物の排出抑制やリサイクルを推進 	<p>(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 「食品ロス削減協力店」の登録・PR イ スーパーマーケット等と連携した「てまえどり運動」の実施 ウ 外食時の食品ロス削減の推進 エ 環境講座の実施（再掲） オ フードバンクに関する周知啓発（再掲） カ 食品ロス削減推進サポーターの育成（再掲） キ 勉強会の開催（再掲） <p>(2) その他の関連施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 商品寄贈による社会福祉貢献活動 イ 6次産業化サポート事業 ウ エシカル消費の普及啓発（再掲） エ わ食（和食・輪食・環食）の推進（再掲） オ 食農推進事業（再掲） カ 食育リーフレットの作成（再掲） キ 学校における各教科の指導の充実（再掲）
リサイクルの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロスの循環利用システムの構築 ・手つかず食品等の食品ロスについて、リサイクル技術の研究やモデル事業の実施などを行い、飼料や堆肥等として活用される、循環型の事業システムの構築を検討 	<p>(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 食品リサイクル・ループ形成に向けた取組 イ 食品リサイクル施設の周知

4 家庭系生ごみの減量に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 「ごみ減らそうデー」の実施

毎月1日を「ごみ減らそうデー」とし、スーパーマーケットの店頭でのパネル展示やアンケートの実施等により、買物客に食品ロス削減の取組等と呼びかけた。また、8月にはリサイクル工作教室を同時に開催した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：8回
- ・ 合計参加者数：783人



イ ごみ減量・リサイクルに関するチラシ等の作成

食品ロス削減を含むごみ減量・リサイクルに関するチラシを作成し、町内会等を通じて配布した。また、市内への転入者等に配付しているごみ出しハンドブック「ひろしまエイト」で、食品ロス削減について周知を図った。

ウ 勉強会の開催

広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の開催に併せて、事業者の取組について事例紹介いただく勉強会を開催した。

<勉強会の内容>

- ・ プラスチックごみ削減・リサイクルの取組【イオンリテール株式会社中四国カンパニー】
- ・ 店頭を利用したペットボトル回収について【株式会社セブン-イレブン・ジャパン】
- ・ 「食品ロス削減月間」におけるmottECO検証事業実施について【株式会社そごう・西武そごう広島店】

エ フードバンクに関する周知啓発

フードバンクの概要や市内で活動するフードバンク団体等について、チラシ・本市HPにより周知を図った。

オ ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開

食品ロスの削減を含むごみの減量やリサイクルの方法などを紹介したDVDを作成し、市内の小・中学校における環境教育での活用のほか、市民等に無償で貸し出すとともに、YouTubeへ公開した。

カ 食品ロス削減に関する取組の周知啓発

国が実施する「食品ロス削減推進表彰」や「食品ロス削減に取り組む事業者の公表制度」について、市民、事業者等に周知を図った。また、10月の食品ロス削減月間に国が作成したポスターの掲示を行うとともに、各種イベントにおいても掲示した。



キ 食品ロス削減推進サポーターの育成

地域等において食品ロスの削減を担う人材を育成するため、食や環境問題に一定の知見を有した個人や団体の会員向けの講座の受講を関係団体等に呼び掛け、サポーターの育成を推進した。

※食品ロス削減サポーター制度は、令和4年度に消費者庁が創設。

【参考：本市における食品ロス削減推進サポーター 91人（令和6年1月時点）】

ク 食品ロス削減イベントの開催

食品ロス削減の日（10月30日）の前日に市内中心部において市民を対象としたイベントを開催し、食品ロス削減に関するクイズやパネル展示、フードドライブなどを実施した。

<実施状況>

実施日	イベント名	実施場所	クイズ参加人数	フードドライブ実績
10月29日	スマイル！ひろしま広場	広島駅南口地下広場	217人	120個



ケ 環境イベント等への出展に合わせたクイズ・フードドライブの実施

環境をテーマとしたイベント等においてブースを出展し、食品ロス削減等に関するクイズやパネル展示を実施するとともに、フードドライブ（家庭で余っている缶詰やレトルト食品等を持ち寄ってもらい、福祉団体等に寄付する活動）を実施した。

<実施状況>

実施月	イベント名	実施場所	クイズ参加者数	フードドライブ実績
6月	環境の日「ひろしま」大会	基町クレド	140人	28個
10月	エコロジーマーケット 環ッハッハinよしじま	中工場	167人	44個
11月	文教祭	広島文教大学 ノムラストアー	未実施	502個
11月	あさきた元気フェスタ	安佐北区役所	未実施	90個
12月	南区安全・安心なまちづくりフェスティバル	南区役所 広島産業会館東館	未実施	6個
3月	ぬまたエコ広場	安佐南工場	323人	101個



コ エコクッキング教室等の開催

(7) 広島県栄養士会と連携し、普段は捨てがちな食材の部位や余った食材を活用した調理方法を紹介するエコクッキング教室を公民館等で開催した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：5回
- ・ 合計参加者数：67人



(イ) 公民館学習会の「環境問題解決のための事業」等として、エコクッキング等の講座を実施し、食品ロスの削減や、日々の生活の中でできる取組について学び、身近な環境について考える機会を提供した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：19公民館にて22回
- ・ 合計参加者数：307人
- ※ 当該実績は(ア)の開催実績分を含む。

吉島公民館

よしじまエコ講座 

食べ物を無駄にしない知恵とレシピ  **うれしい託児付!**

生ゴミの中には、手つかず食品や食べ残しなど、まだ食べられるのに捨てられているいわゆる「食品ロス」が含まれています。一緒に食べ物の無駄を活かす方法について考えて、エコな生活をしませんか？

📅 成人 (先着 16人)
📅 2月19日(木) 10:00~12:30
📍 400円 ※当日集めます。
※当日キャンセルは、参加費をご負担いただきます。

📍 環境カウンセラー 栗野 英子さん
📅 2月14日(木)までに電話または窓口へ

【託児について】
6か月以上のお子さんの託児(先着5人まで)があります。申し込み時にお子さんの名前と年齢をお知らせください。当日は、お子さんに必要な物(おむつ、飲み物、おやつ、おもちゃ等)も併せてお持ちください。持ち物には、すべて記名をお願いします。

📍 食品ロスの現状を学ぶ。
📍 調理実習(食品ロス削減レシピの実践) 関西風お好み焼き・お菓子のスナック
※調理には小麦粉を使用します。
📍 エプロン、三角巾、ふきん、タオル、マスク、あれば冷蔵庫の残り野菜(キャベツ以外)、筆記用具

戸坂公民館

へさかカレッジ 比治山大学との連携講座

減らそう! 家庭の食品ロス ~今よりもっと、何ができる?~

あなたは食品ロス削減に取り組んでいますか? 難しく考えなくても、日常のちょっとした取組みが食品ロス削減につながります。今取り組んでいること、そして、これから取り組めることをみんなで一緒に考えてみませんか?

📅 日時 8月25日(金) 13:30~15:30
📍 場所 戸坂公民館 3階 大集会室
📍 対象 どなたでも
📍 定員 40人
📍 講師 比治山大学 健康栄養学部管理栄養学科 教授 加島 浩子さん
📍 申込み 戸坂公民館へ電話か窓口で(申込み順 定員になり次第締切り)
📍 共催 比治山大学



タ 学生と連携したエコクッキングレシピ・動画作成及びエコクッキング教室の開催

市内の学生に食品ロス削減につながるエコクッキングレシピ・動画を作成してもらい、市ホームページ等で紹介するとともに、学生を講師としたエコクッキング教室を開催した。

また、大学祭において学生が主体となり、フードドライブを実施した。

<実施状況>

・ **エコクッキングレシピ・動画の作成、エコクッキング教室の開催**

令和5年度は安田女子大学と比治山大学の大学生がエコクッキングレシピを、比治山大学と安田女子大学の大学生がエコクッキングレシピ動画を作成した。

また、安田女子大学の学生が講師となったエコクッキング教室を2回開催した。

・ **フードドライブの開催**

平成28年度から広島文教大学の大学祭において、学生が主体となりフードドライブを実施しており、令和5年度は502個の食品の提供があった(4-(1)-ケの表参照)。



チ 啓発パネル等の啓発物品の貸出

ごみの減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとしたパネルの貸出しを行った。

<実施状況>

令和5年度実績(パネル貸出)：4回(仁保公民館等で使用)



サ 生ごみリサイクル講習会の開催

段ボールやミズを用いて家庭で生ごみを堆肥化する方法を紹介する講習会を公民館等で開催した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：4回
- ・ 合計参加者数：1110人



シ 環境講座の実施

家庭ごみの分別・減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとした環境講座を実施した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：23回
- ・ 合計参加者数：478人

ス 「わたしたちの広島」及び「ごみのおはなし」における周知啓発

小学校3・4年生を対象とした学習教材である「わたしたちの広島」と「ごみのおはなし」に、食品ロスの現状や身近にできる食品ロス削減の取組等を掲載し、周知啓発を図った。

セ パネル展示の実施

食品ロスやSDGs、環境等についてのパネル展示を図書館で実施し、食品ロスの削減に向けた実際の行動を促した。

<実施状況>

- ・ 令和5年度実績：18回

ソ 家庭系廃食用油の回収の促進

家庭系廃食用油については、その多くが可燃ごみとして排出・焼却されており、民間事業者等が廃食用油を回収するとごみの減量や飼料化・肥料化によるリサイクルにつながるため、この取組についてホームページやチラシで広報を行った。



(カ) 啓発動画の作成及び放映

エシカル消費について紹介する 30 秒の啓発動画を作成し、消費生活センター入口のデジタルサイネージ、基町クレド大型ビジョン及び各種啓発イベントにて放映した。

(キ) 展示ブース出店

- ・ 食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」（10 月 29 日）にて、広島商業高校と連携し、エシカル消費の普及啓発活動を実施した。
- ・ みなとフェスタ（3 月 16 日、17 日）に出展し、エシカル消費の普及啓発活動を実施した。

イ わ食（和食・輪食・環食）の推進

健全な食生活を実践する市民を増やすため、毎月 19 日の「わ食の日」を啓発するとともに、様々な機会や場面を活用した 3 つの「わ食（和食・輪食・環食）」に関する情報提供を行った。

(ア) 広報紙への掲載及びデジタルサイネージの配信

第 4 次広島市食育推進計画の周知と併せて、「わ食の日」及び「3 つの『わ食』」を啓発した。

(イ) SNS への投稿

わ食啓発動画を作成し、毎月 19 日「わ食の日」に併せて、広島市公式 SNS（X、Facebook、LINE）に記事及び動画を投稿した。また、前述の媒体に加えて広島市公式 YouTube において、「和食」や「環食」に関する料理レシピの周知を行った。

(ウ) 各種イベント等での広報

3 つの「わ食」を啓発するチラシを、食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」など様々な場面で配布した。

ウ 食農推進事業

市内産・新鮮・安心な“ひろしまそだち”製品の消費拡大に向け、市民が気楽に食農体験ができる機会を拡大し、「食」と食を支える「農」に対する理解を深める取組として、食農体験イベントの実施や食農コーディネーターの育成などを行った。

(ア) 食農体験イベントの実施

市民を対象とした栽培から収穫、調理・試食までの体験会を実施した。

<実施状況>

- ・ 令和 5 年度実績：4 回（4 品目）
- ・ 延べ参加者数：104 人

(イ) 食農コーディネーターの育成及び活動支援

食農体験の企画・運営を行うための人材の育成研修を実施するとともに、フォローアップ研修についても実施した。

これらに加えて“ひろしまそだち”製品情報の提供等も実施した。

<実施状況>

- ・ 令和 5 年度食農コーディネーターの認定者数：55 人
- ・ 食農コーディネーターの活動実績：食農イベント等の実施 138 回
(市民等の延べ参加者数 3,073 人)

(ウ) 農産物栽培展示の実施

野菜や水稲の栽培展示を実施した。

<実施状況>

令和 5 年度実績：6 か所（区役所、小学校及び民間施設等）

(エ) 「食」と「農」に関する授業の実施

小学校が実施する農作物の栽培等について、市職員や農家を講師として派遣した。

<実施状況>

令和 5 年度実績：7 回（市内小学校 7 校）

エ 食育リーフレットの作成

学校における食育を推進するため、栄養バランスの良い食事や望ましい生活習慣、食文化、地産地消、食品ロスの削減など、小学 1 年生から中学 3 年生までの各学年の学習内容に応じたテーマで食育リーフレットを作成し、これを活用した食育の指導を行うこととしており、令和 5 年度は、全中学校の 2 年生、3 年生及び全小学校の 5 年生に食品ロスをテーマとしたリーフレットを配付した。

また、リーフレットは保護者向けの内容も掲載しており、家庭への啓発も図った。

<記載内容>

・ 中学校 2 年生

表面（生徒向け）：日本はたくさんの食料を輸入している一方で食品廃棄も多いこと、また食料自給率や食品ロス削減に着目させ、食品ロスを減らすためにできることを考えるよう促した。

裏面（保護者向け）：エコクッキングやフードマイレージ（食料の輸送量に輸送距離をかけあわせた指標）について紹介した。

・ 中学校 3 年生

表面（生徒向け）：地産地消や食品ロス削減について紹介し、環境に配慮した食生活について考えるよう促した。

裏面（保護者向け）：だしをとった食材を廃棄しない給食料理の「ひろしまっこ汁」やエコクッキングについて紹介した。

・ 小学校 5 年生

表面（児童向け）：学校給食で提供している「ひろしまっこ汁」は、だしで使用したちりめんいりを汁の実として食べることを例に食品ロス削減について紹介した。



オ 学校における各教科の指導の充実

発達段階に応じて、食品ロスへの理解の醸成やその削減に向け主体的な行動を促すことを目的に、各教科等の学習活動を通じて指導を行った。

<小学校における教育活動>

社会科：本市の小学校で使用している社会科副読本「わたしたちの広島」で取り扱っている、環境局が市民を対象として、食品ロスを減らすために実施している「スマイル！ひろしま」キャンペーンについて調べ、広島市で行われているごみを減らす取組について考える学習活動などを行った。

家庭科：調理実習を行う際、事前に地産地消や食品ロスについて調べて考える学習を行った上で、野菜の皮むきや食べ残しを少なくするための切り方を工夫する学習活動などを行った。

<中学校における教育活動>

社会科：世界の貧困問題について学習する際に、先進国の食品ロスの現状から貧困の起こる理由を考察し、自分に何ができるかを考える学習活動などを行った。

技術・家庭科（家庭分野）：食生活について学習する際に、食品ロスや食料自給率等の現状について調べた上で、持続可能な食生活のためにどのような工夫をすることができるかを考える学習活動などを行った。

<高等学校における教育活動>

地理歴史科：食料問題について学習する際に、発展途上国の貧困や飢餓、先進国の食品ロスなどの食料問題の解決に向けて、各国あるいは国際的にどのような取組をすべきかを考察する学習活動などを行った。

家庭科：食生活について学習する際に、フードマイレージなど環境に配慮した食生活を実践するとともに、食品ロスや食料自給率等の現状を踏まえ、持続可能な食生活のためにどのような工夫をすることができるかを考える学習活動などを行った。

<学校独自の取組>

広島商業高等学校では、毎年 12 月に開催しているピースデパートにおいて、エシカル消費の啓発として地域企業と協同で行う地産地消の商品の販売や食品ロスの削減を来場者に提案するなどの取組を行った。

5 事業系生ごみの減量に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 「食品ロス削減協力店」の登録・PR

量り売りや小分け売りなどに取り組む小売店等と料理の食べきりなどに取り組む飲食店や宿泊施設を「食品ロス削減協力店」として登録し、市ホームページでPRするとともに、ポスターやステッカーの配布、幟旗の掲出を行った。
 <登録店舗数（令和6年4月1日現在）>
 計656店舗（内訳：飲食店・宿泊施設220店舗、小売店等436店舗）



イ スーパーマーケット等と連携した「てまえどり運動」の実施

販売期限が過ぎて廃棄される食品が削減されるよう、買ってすぐ食べる場合に、商品棚の手前に並べられている消費期限・賞味期限が近い商品や値引き商品を積極的に選ぶ「てまえどり」を呼びかける運動を実施した。
 <実施内容>
 食品ロス削減協力店のうち小売店等において、「てまえどり」を呼びかけるポップやポスターを掲示するとともに、店内アナウンスを行うよう、取組を進めた。

ウ 外出時の食品ロス削減の推進

(ア) 「3010運動」（さんまるいちまる運動）の周知
 外出時には食べられる量だけを注文し、料理をおいしく食べることや、宴会において、最初の30分と最後の10分は料理を楽しむことで、食べ残しを減らす「3010運動」（さんまるいちまる運動）について、市ホームページを活用した周知を行った。



(イ) 「ぶちええね！食べきりキャンペーン」の実施
 12～1月の宴会シーズンにかけて「食品ロス削減協力店」に登録している飲食店等に協力いただき、料理を食べきった利用客に「広島広域都市圏ポイント（としぽ）」を付与する取組「ぶちええね！食べきりキャンペーン」を実施した。

<実施状況>
 ・ 令和5年度実績：22店舗
 ・ 延べ利用者数：61人

エ 環境講座の実施（再掲）

オ フードバンクに関する周知啓発（再掲）

カ 食品ロス削減推進サポーターの育成（再掲）

キ 勉強会の開催（再掲）

(2) その他の関連施策

ア 商品寄贈による社会福祉貢献活動

令和5年3月16日に株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下「セブン-イレブン」という。）、広島市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）、本市との間で「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」を締結し、この協定の下、セブン-イレブンの県内店舗の閉店・改装時の在庫商品について、市社協への寄贈を通じて、NPO法人やボランティア団体等の福祉活動団体等は無償提供することにより、福祉活動団体等の支援・育成を通じた福祉活動の促進や生活困窮者等への支援に取り組んでおり、本市としてもその広報活動を担うなど取組の支援を行った。

<実施状況>
 令和5年度実績：5回（段ボール箱224箱分）の商品寄贈があり、福祉活動団体等や生活困窮者等は無償提供した。

イ 6次産業化サポート事業

6次産業化に取り組む農業者、林業者を支援するため、農林産物の加工品製造研修の実施、パッケージデザインや販路開拓などに係るアドバイザーの派遣等を行った。また、アドバイザー派遣により、自社の農産物を使用した加工品の開発等の支援し、規格外等の農産物の有効活用にも繋げた。

<実施状況>
 令和5年度実績（派遣回数）：2回

ウ エシカル消費の普及啓発（再掲）

エ わ食（和食・輪食・環食）の推進（再掲）

オ 食農推進事業（再掲）

カ 食育リーフレットの作成（再掲）

キ 学校における各教科の指導の充実（再掲）

6 事業系生ごみのリサイクルの促進に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 食品リサイクル・ループ形成に向けた取組

野菜の皮や芯、魚のあらなどの調理くずや食品ロスを、肥料や飼料にリサイクルし、その肥料や飼料を使って野菜や魚などを育てる循環型のモデル「食品リサイクル・ループ」の認知度向上に向け、PR用の本市オリジナルのロゴを作成しており、このロゴを使用したポップやチラシを事業者者に提供した。また、町内会等を通じて配布するごみ減量啓発チラシにもこの取組を掲載した。



イ 食品リサイクル施設の周知

本市ホームページに近隣市町の食品リサイクル施設を掲載し、食品関連事業者等に周知を図った。